

「比例を軸に」を貫き

統一地方選挙・参院選必勝へ総決起を！

参院比例850万票・15%以上で7議席を 東北で60万票・15%必ず

東北6県・全国遊説

2月3日鶴岡市で市田忠義副委員長が訴え

紙智子参院議員 関とおる県議 吉田武 濱田藤兵衛参院選挙区候補 が決意



声援に応える（左から）佐藤まさゆき大蔵村議、吉田、関、市田、紙、はまだ、佐藤悦子、庄司りか新庄市議の各氏=3日
鶴岡市選挙区（定数5）で2期目をめざす関とおる県議、12年ぶりに候補者を立てる酒田市・鮑海（あくみ）郡区（定数5）でたまたが吉田武県議候補、はまだ藤兵衛参院選挙区候補が決意を表明しました。



偽装や憲法改悪、消費税増税など暴走する安倍政権を痛烈に批判し「本気の共闘で安倍政権を追い詰めよう」と呼びかけました。紙智子参院議員は、自由化路線で農業を壊す「亡国の農政」を批判し、「みなさんと気持ちを一いつに頑張ります」と訴えました。

日本共産党青森県委員会
青森県議予定候補 第2次を公表しました。

青森県議選2次候補を公表

よこがきなりとし
横垣成年 新
むつ市議

青森県議候補
むつ市区
(定数3)



猪苗代町新春のつどいで挨拶するいわぶち議員=3日

いわぶち友 参院議員 猪苗代町新春のつどいに参加

いわぶち議員は3日、福島県猪苗代町「新春のつどい」に参加。参加者から「消費税は10%どころか、さらなる増税が狙われているのではないか」「モニタリングポストのメンテナンスをしてほしい」「介護施設に入れるようにしてほしい」などの声があがりました。

マイナンバーやインボイスなどの話も出されました。

手打ちそばを食べながらの交流でも、憲法のことや安倍政権への怒りなど、次々話が出されました。

（いわぶち友フェイスブックより）



災害シンポジウムで報告する紙智子参院議員=2日、仙台市



2日、党宮城県委員会が主催する「災害シンポジウム」が仙台市で開催されました。紙智子参院議員がこの間の取り組みと課題について講演し、各分野の報告などに100人が聞き入りました。



石巻市新春のつどい 紙議員4選・三浦県議3選へ決意

2日、石巻市新春のつどいで、紙智子参院議員、三浦一敏県議が「当選へ全力をつくす」と決意を語りました。

仙台で災害シンポジウム 紙智子参院議員が講演

めざす「みんなで決める」の多々良哲代表と県民センターの小川静治事務局長があいさつをしました。

紙議員は、阪神・淡路大震災を契機にした国民運動で、私有財産への支援を拒んできた国の姿勢を変えさせ、被災者生活再建支援法などを強調。被災者の実態に合わせて法律を変える必要を指摘し「将来の災害を予想して備えることが大切だ」と訴えました。

一つ一つの地方選挙を勝ち抜こう

○2月3日投票の岩手県陸前高田市長選挙は、党派を超えた市民団体「あたらしい陸前高田市をつくる市民の声」の戸羽太氏が激戦を制し3選を勝ち取りました。